

三方よし

宮崎県発注 治山工事
『平成26年度林地荒廃防止事業 春の平3』

～地域住民の安全をいち早く確保するために、
難条件の現場でいかに工夫したか～

株式会社 内山建設
工事部 次長 金丸正明

現場周辺



当該現場は、この山麓（標高H=900m）における治山ダムを造成する工事でした。

着工が大幅に遅れた・・・



仮設道路が、長引く雨により大幅に遅れた。

それに伴い、本工事の現場乗り込みも2か月遅れ、
出水期での施工となってしまった・・・
普通に施工すると、積雪時期に重なり、工期割れは必至！！

工期前完成で、発注者のみならず、地元住民に安心をいち早く届けたい。。。

そのためには・・・

- 施工中における周辺一般市民に配慮しながら、
期限内完成を果たし、
発注者そして地元住民の安全確保に寄与する
(つまり 三方よし にするには・・・)

まず、現場従事者の満足が高めることから！！

そこから
関係者（地域住民、発注者）の満足に繋がる

現場従事者への配慮1



上流は大規模崩壊力所であり、対岸の目印になるような石に光波レーザー測定し、地山の動態を観測した。

動いていない数値を記入し、現場員に朝礼等で周知。
安心して作業ができる環境を提供した。

現場従事者への配慮2



作業道の一番下の退避所は、
大型車両（特に生コン車）等の往来が頻繁に行われるので、路盤の補強も考慮し、軟弱土は全て撤去し再生ランで入れ替えた。

現場従事者への配慮3



作業道が一番下の退避所は、大型車両（特に生コン車）等の往来が頻繁に行われるので、路盤補強も考慮し、軟弱土は全て撤去し再生ランで入れ替えた。

現場従事者への配慮4



大雨時の鉄砲水による緊急災害を想定し、避難所を設置（BCP対応）。

昇降施設も完備し、作業員が安心して作業できる環境を整備した。

現場従事者への配慮5

隣町の温泉宿へ慰安

朝早くから、夜暗くまで早出残業。その疲れを癒すべく、途中で息抜きを実施。最後は、1本締めで「安全・工期内完成」を誓う！！



道路利用者への配慮1



現場付近を通行する第三者の方々へ安心感を与える為、工事に対する意見・要望を呼び掛ける看板を設置した。

仮設トイレも提供し、自由に使ってもらった配慮も行った。（この道路沿いにはトイレが全くないため、大変喜ばれた）
～トイレは毎日キレイに掃除しました(#^.^#)～

道路利用者への配慮2



通行量が少ない林道ではあったが、逆に道路利用者から見て予想外の場所から車が出てくる可能性があり、事故発生リスクがあった。そこで、生コン車等が出入りする際に、誘導員を配置した。また、出入りによる路肩損傷を防止するため、敷鉄板を敷いた。

道路利用者への配慮3



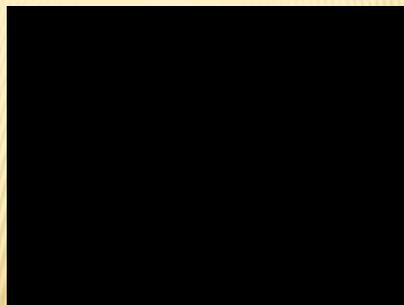
予め幅員に余裕のある箇所を特定し、そこナンバプレートを設置。

オベ同士で無線にて位置を確認させながら運行させた。

それでは・・・

着工から完成までの 流れを
ご覧ください・・・

『平成26年度林地荒廃防止事業 春の平3』



おかげさまで、当工事は
平成28年度宮崎県治山林道工事コンクール
で **最優秀賞**を受賞することができまし
た。

これを機に 現場作業員の満足度を高めつ
つ、さらに「三方よし」を推し進めいきたい
と思います。

ご清聴ありがとうございました。